

防犯性能の高い建物部品の開発・普及の状況について

1 概要

侵入犯罪の防止を図るため、平成14年11月、関係省庁及び建物部品関連の民間団体からなる「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」を設置し、昨年4月、「防犯性能の高い建物部品目録」を取りまとめ、ホームページ（<http://www.cp-bohan.jp/>）に掲載、公表したところである。今般、平成16年度における防犯性能の高い建物部品（以下「防犯建物部品」という。）の開発・普及の状況及び今後の普及促進方策について取りまとめた。

2 開発状況

目録公表以降、ドア、錠、サッシ、ガラス、ウィンドウフィルム、シャッター等に対する防犯性能試験（実際の犯罪手口を踏まえた攻撃方法による試験）を引き続き実施し、防犯建物部品として新たに240品目を追加、計2,521品目にするとともに、車庫等に使用されるオーバーヘッドドアを防犯建物部品の新たな種別として追加した。

3 普及状況

防犯建物部品の出荷状況については、各業界団体における推定値で、平成16年末までに、錠等約44,640個、各種ドア約2,700体、サッシ約1,900体、窓シャッター等約3,800体、ガラス約100万 m^2 、ウィンドウフィルム約14万 m^2 であった。本格的な出荷体制が整ったのが平成16年後半となった品目が多いため、現時点での出荷量は、建物部品全体の1パーセント前後に過ぎない状況である。

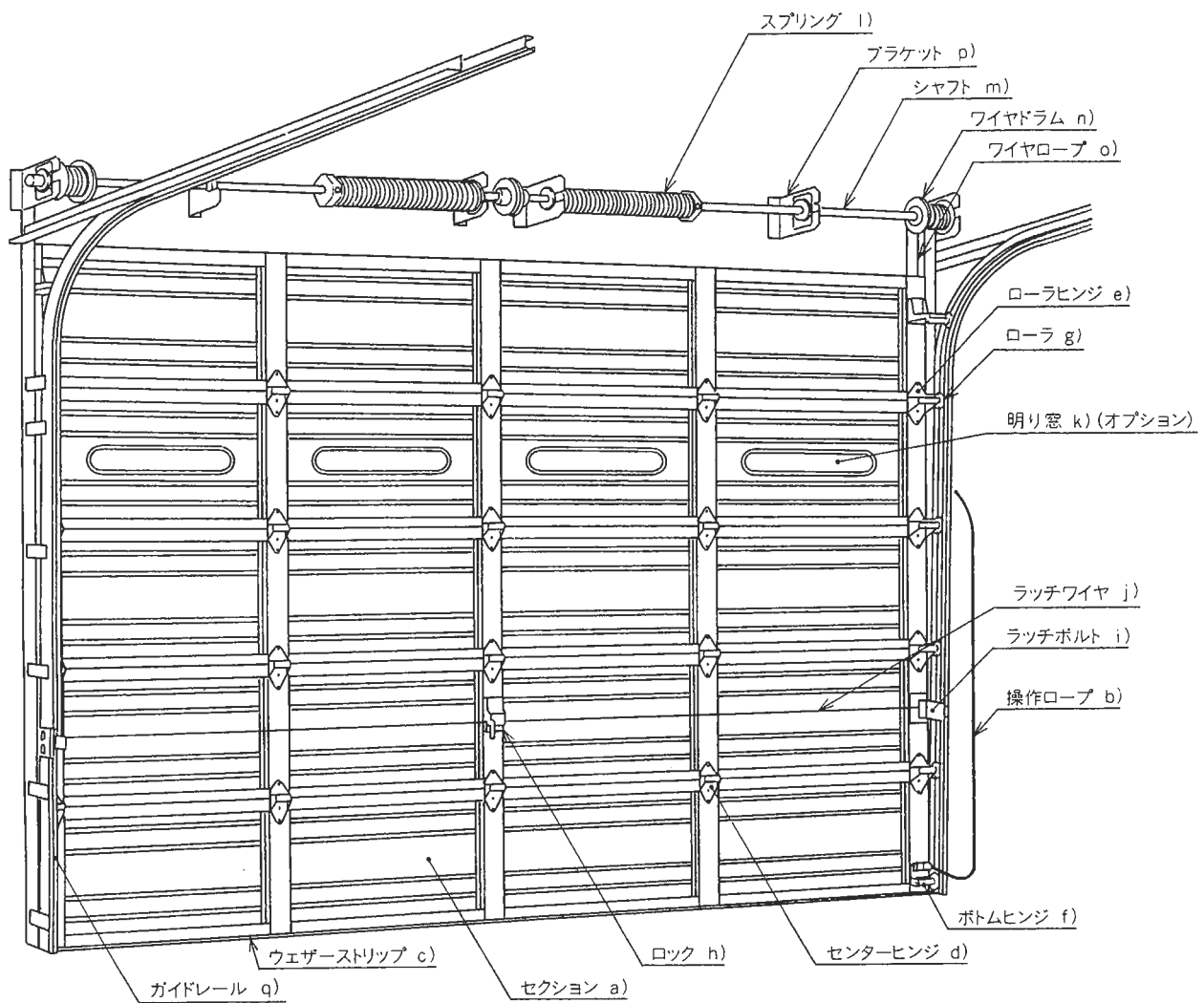
4 普及に向けた主な取組

(1) 既の実施している取組

共通標章（CPマーク）の策定
ホームページ「住まいる防犯110番」（警察庁）、「住まいの情報発信局」（国土交通省）による情報提供
防犯性能を高めるリフォームのための施工要領書の作成（日本ロック工業会）

(2) 今後の取組

官民合同会議において、引き続き、広報・普及活動を継続するほか、防犯優良マンション認定制度（仮称）の整備、普及促進
住宅性能表示制度における防犯性能の評価・表示の導入
戸建住宅における省エネ・防犯情報提供事業の促進
パンフレット・ポスターの製作、配付
等の取組を進めることとする。



(図は、一例を示す。)

オーバーヘッドドア内観図

防犯性能の高い建物部品目録掲載数

	種 別	掲載数		
		H16.4.1	H17.4.7	
1	ドア(A種)	389	453	
2	ドア(B種)	511	511	
3	ガラスドア	低層住宅用	37	40
		ビル用	51	53
4	上げ下げ内蔵ドア	低層住宅用	30	33
		ビル用	5	7
5	引戸	19	29	
6	錠	錠	69	85
		1ドア2ロックセット	9	9
		シリンダー	25	28
		サムターン	14	24
7	サッシ	引き形式(低層住宅用)	140	146
		引き形式(ビル用)	198	222
		開き形式(低層住宅用)	135	150
		開き形式(ビル用)	211	219
		上げ下げ形式	69	75
8	ガラス	51	100	
9	ウインドウフィルム	20	20	
10	雨戸	雨戸	11	14
		2分仕様	9	9
11	面格子	67	82	
12	窓シャッター	窓シャッター	56	56
		2分仕様	33	33
13	重量シャッター	重量シャッター	20	20
		特に防犯性能の高い重量シャッター	11	8
14	軽量シャッター	51	51	
15	シャッター用スイッチボックス	40	40	
16	オーバーヘッドドア	-	4	
計		2,281	2,521	